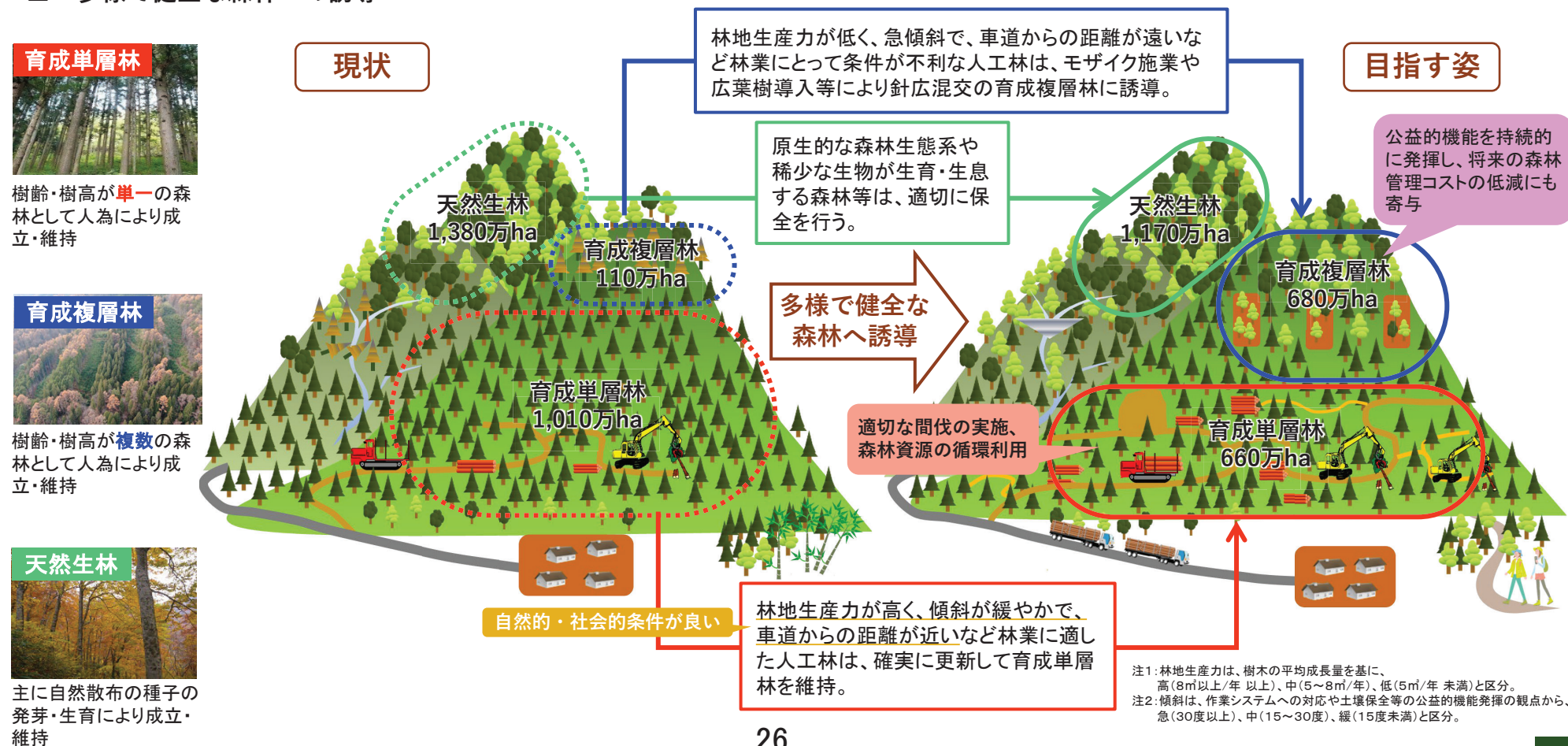


望ましい森林の姿（「森林・林業基本計画」より）

- 将来にわたって持続的に多面的機能を発揮できるよう、多様で健全な森林へと誘導する必要。
- 自然的・社会的条件が良く、林業に適した森林では、主伐後の植栽による確実な更新により育成単層林を維持し、資源の循環利用を図る。また、林業にとって条件が不利な森林では、モザイク施業等により育成複層林へと誘導。
- 原始的な天然生林は適切に保全するとともに、山村等に存する里山林は保全管理及び利用を推進。

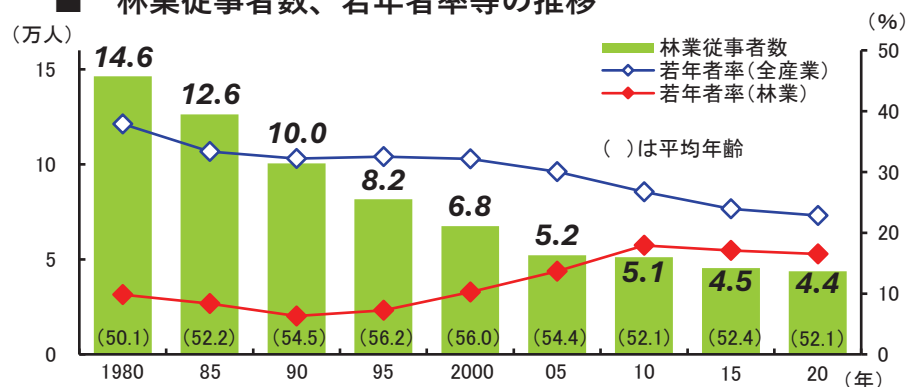
■ 多様で健全な森林への誘導



人材の育成・確保、労働安全

- 林業従事者は長期的には減少傾向にあるが、2015年から2020年にかけては横ばいに転じ、4.4万人。全産業の若年者率が低下する中、林業ではおおむね上昇傾向。
- 「緑の雇用」事業等により、新規就業者を確保し、現場技能者として段階的・体系的に育成。また、雇用管理の改善と労働災害防止対策を推進。林業における労働災害の発生率は他産業と比べ高い。
- 人材が不足する中、人材の確保のために賃金等の上昇傾向。公共工事設計労務単価は、13年連続の上昇。

林業従事者数、若年者率等の推移

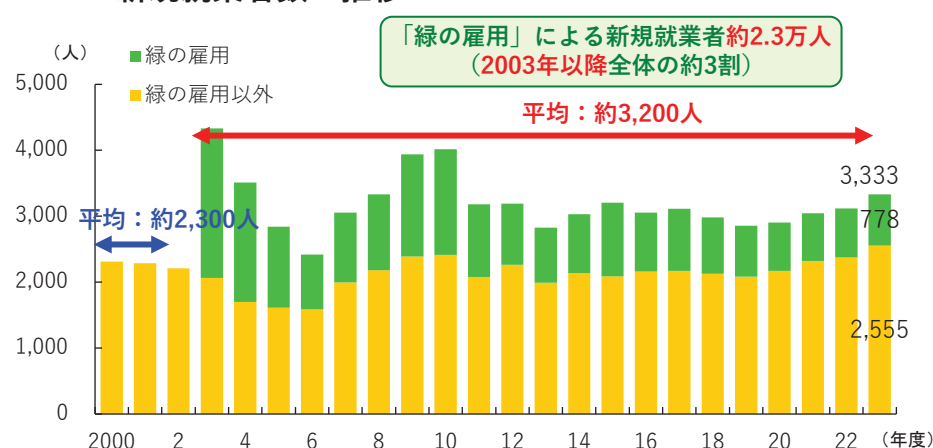


資料：総務省「国勢調査」

注1：若年者率とは、総数に占める35歳未満の割合。

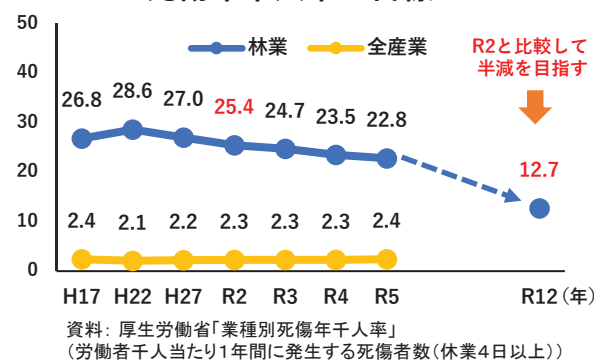
注2：林業従事者の平均年齢については、1995年以前は林野庁試算による。

新規就業者数の推移



資料：林野庁業務資料

死傷年千人率の目標

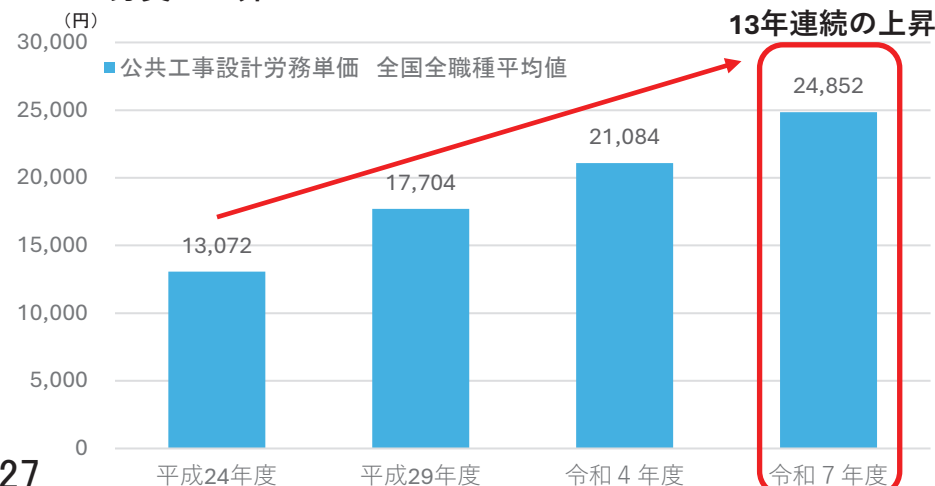


資料：厚生労働省「業種別死傷年千人率」
(労働者千人当たり1年間に発生する死傷者数(休業4日以上))

主な林業労働安全対策



労賃の上昇



資料：国土交通省報道発表資料